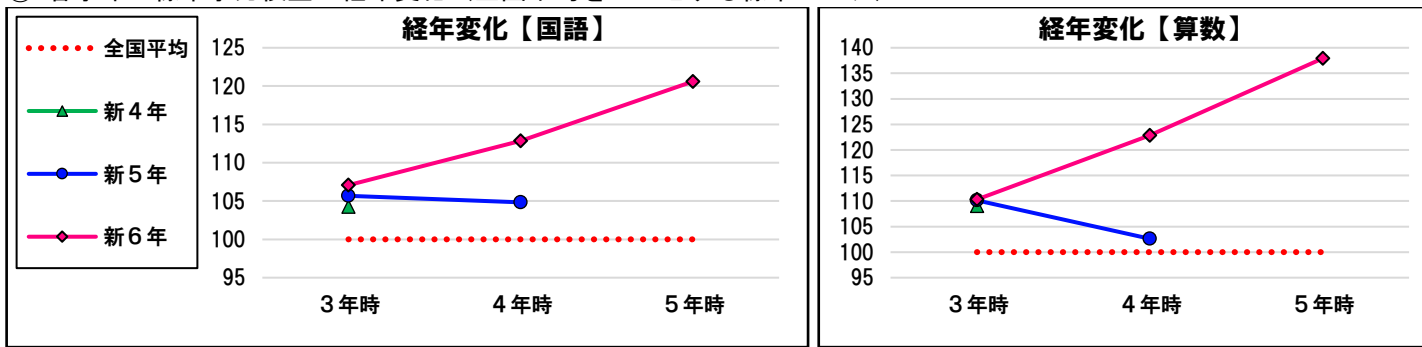


令和6年度 釧路市立共栄小学校 学力向上プラン

I 前年度の各種調査から見られる学校の状況

※釧路市では3～6年生を対象に標準学力検査を実施しています。

① 各学年の標準学力検査の経年変化（全国平均を100とする標準スコア）



② 学校の状況

釧路市標準学力検査の結果から（学力検査結果）

○国語・算数ともに、どの学年も全国平均を上回っています。特に6年生は国語・算数ともに全国平均を大きく上回っています。

●全国平均は上回っているものの、5年生の算数は下降傾向にあります。

釧路市標準学力検査の結果から（生活行動・学習活動調査結果）

○多くの質問項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っており、自尊心や自己肯定感、規律意識、学習・生活意欲が高く、自主性も育っています。

○国語・算数ともに「話をしっかり聞く」「ノートをしっかりとる」「宿題をきちんとやる」など、学校での学習態度が身に付いています。

○「家庭で1時間以上学習している」児童が9割を超え、全国平均を大きく上回っており、家庭での学習習慣が身に付いています。

●起床・就寝時刻ともに遅く、特に20時30分以降に就寝している児童が6割を超え、全国平均より高い割合になっています。

学校評価及び学習・生活アンケートの結果から

○学習規律（学習の約束）を守って学習に臨んでおり、学校の勉強がよくわかると回答した児童が多いです。

●勉強の必要性や重要性を感じないまま、学習に臨んでいる児童が多いです。

●多くの児童が「学年×10分+10分」の家庭学習に取り組んでいます。保護者は家庭での学習の様子に満足していない状況が見受けられます。

●1日2時間以上メディアに触れている児童が半数程度存在します。

II 今年度の学力向上に係る重点取組

① 学校全体での取組

授業づくり	学習集団づくり	学習習慣・環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> ○「釧路市で目指す授業」をベースとした「共栄小学習の手びき」に沿った授業づくりの徹底を図る。 ○校内研修を軸に、「子供同士の協働、対話等を通して、自己の考えを広げ深める」授業づくりを全教科等で実践する。 ○児童が学び意義を実感できるよう授業展開を工夫する。 ○タブレット端末を効果的に活用するとともに、情報活用能力体系を踏まえた活用能力の向上（含：情報モラル）を図る。 ○各種研修会（オンライン学習会）に積極的に参加し、教員一人一人の資質向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全ての児童が居心地が良く安心して学習・生活できるよう、一人一人の個性（よさ）や頑張り認め、支え、高め合える学級づくりを行う。 ○異なる意見にも耳を傾け認め合うなど、一人一人が自分の考えを表出できるような学級の雰囲気や醸成するとともに、発達支持的生徒指導の視点に立った学級づくりを行う。 ○全校が一丸となって学習規律の徹底を図るとともに、定期的に学習・生活習慣アンケートを実施し改善を図る。 ○個人カルテによる児童一人一人の実態把握に努め、その子に合った適切な指導・支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○望ましい学習習慣・生活習慣が身に付くよう「元気カード（生活リズムチェック）」「家庭学習パワーアップシート（高学年）」「各種ノート展」の取組を継続していく。 ○宿題・朝学習・授業等で活用できるように、学習プリントを常備する。 ○外部講師を招いた出前授業や、地域資源を活用した体験的な学習の充実を継続する。 ○外部講師・通級担当教員による放課後学習の実施による学力の底上げを図る。 ○漢字検定や算数検定の実施による漢字・計算技能のスキルアップを図る。 ○読み聞かせ、読書週間に合わせたイベントの実施、読書の記録化（読書カード）による読書習慣の定着を図る。 ○高学年で「スマホ・ケータイ安全教室」を実施するとともに、メディア利用に関する家庭への啓発を定期的に行う。

② 各学年の指導の重点

1年生の重点	4年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・入学から6月までの入門期においては、共栄小学校の「学習の手びき」にある学習規律について学ばせるとともに、安心して学べる雰囲気・環境づくりに努める。その後は、文字（文）の読み書き、計算等、学習の基礎・基本の学びに比重を置くとともに、学習の楽しさを味わわせることで、小学校での学習の基礎作りをしていく。 ・（国語）児童一人一人の経験や体験、思いや考えなどを交え、「話す」機会を充実させるとともに、他者が話すことに興味を持って耳を傾ける「聴く」態度を養う。 ・（算数）絵図を活用したり、具体物を操作したりする活動を大切に、数や形・量と測定等の感覚を豊かにしていく。また、加法・減法の計算技能の習得に力を入れていく。そのため、単元によっては、少人数学習の形態で行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（国語）「漢字の読み書き」「話す・聞く」「伝わる文を書く」学習に、継続して取り組む。 ・（国語）物語や説明文の学習で、内容や気持ちの変化を捉えられるようにする。 ・（算数）四則計算では問題の意味を捉え、正確に計算できるようにする。 ・（算数）問題文や絵図から立式したり、正確に計算したりできるようにする。 ・タブレットを活用して、効果的な学びができるようにしていく。
2年生の重点	5年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・（国語）文の構成（誰が・何を・どうした）を意識させた文を書く力を育てる。 ・（国語）カタカナ・漢字の読み書きの習熟を図る。 ・（国語）大事なところに注目させて文章を読み取らせ、内容理解の力を伸ばす。 ・（算数）加減計算・九九の反復練習を継続し、計算のスキルアップを目指す。 ・（算数）時刻を読み取ったり、針をかき表したりする学習を継続して行う。 ・操作的・体験的な学習を多く取り入れ、関心をもって学習に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（国語）物語や説明文の学習で、内容や心情の変化を捉えられるようにする。 ・（国語）漢字の読み書きを効果的に練習し、4年生の漢字の復習にも力を入れる。 ・（算数）小数のかけ算、わり算の計算スキルを確実に身に付けさせる。 ・（算数）「単位量あたりの大きさ」「割合」等の、つまずきやすい単元の学習に重点を置く。 ・クロームブックを日常的に使い、ロイロノート等を効果的に活用できるようにする。
3年生の重点	6年生の重点
<ul style="list-style-type: none"> ・（国語）大事なところに注目させながら文章を読ませ、要点をつかめるようにする。 ・（国語）段落・句読点・「」等を正しく使って、文章を書いていけるように練習を重ねる。 ・（算数）単位の違いに気を付けて、長さ・かさ・重さの学習を進められるようにする。 ・（算数）位取り表等を効果的に活用して、大きな数に興味をもって学習を進められるようにする。 ・タブレットを活用して、効果的な学びができるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（国語）登場人物の心情を描写を基に捉え、内容を適切に読み取ることができるようになる。 ・（国語）「漢字の読み書き」や「言葉・敬語の使い方」の言語事項をより丁寧に扱う。 ・（算数）「速さ」「単位変換」「四捨五入」「小数・分数」の計算を正確にできるように復習する。 ・（算数）図や数直線を活用して、発展問題に主体的に取り組めるようにする。 ・クロームブックを日常的に使い、ロイロノート等を効果的に活用できるようにする。